

NTTコミュニケーションズにおけるセキュリティ マネジメント体制とセキュリティ人材育成の あり方

2003年1月24日
NTTコミュニケーションズ
取締役 先端IPアーキテクチャセンタ所長
セキュリティマネジメント室長
飯塚 久夫

1. 情報セキュリティマネジメント実現のための取り組み

(1) NTTコミュニケーションズの情報セキュリティの平均レベルの底上げ

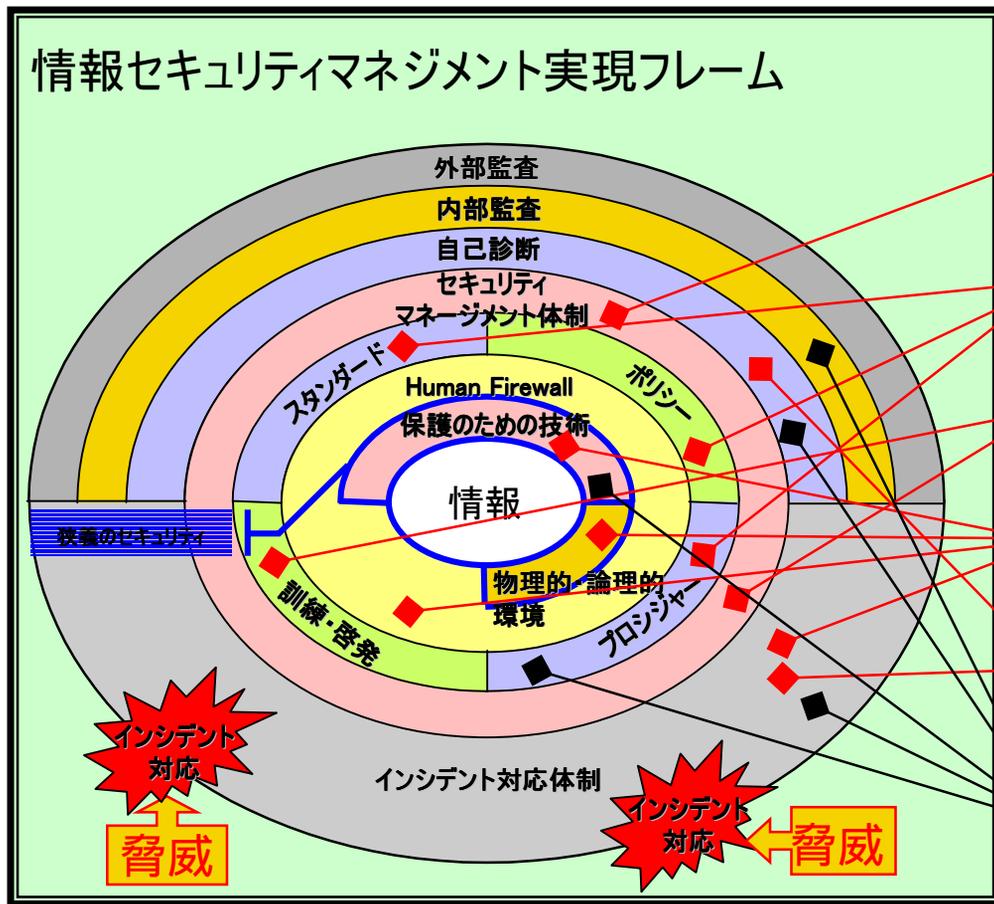
情報セキュリティマネジメントのグローバルスタンダードである(ISO17799)の要求水準からみて見劣りしないレベル

(2) ビジネス要件からISMS*認証を取得する組織の取得支援

(3) 高度スキルをもつセキュリティエンジニアの実践を通じた育成

* ISMS: Information Security Management System

情報セキュリティマネジメント実現フレーム

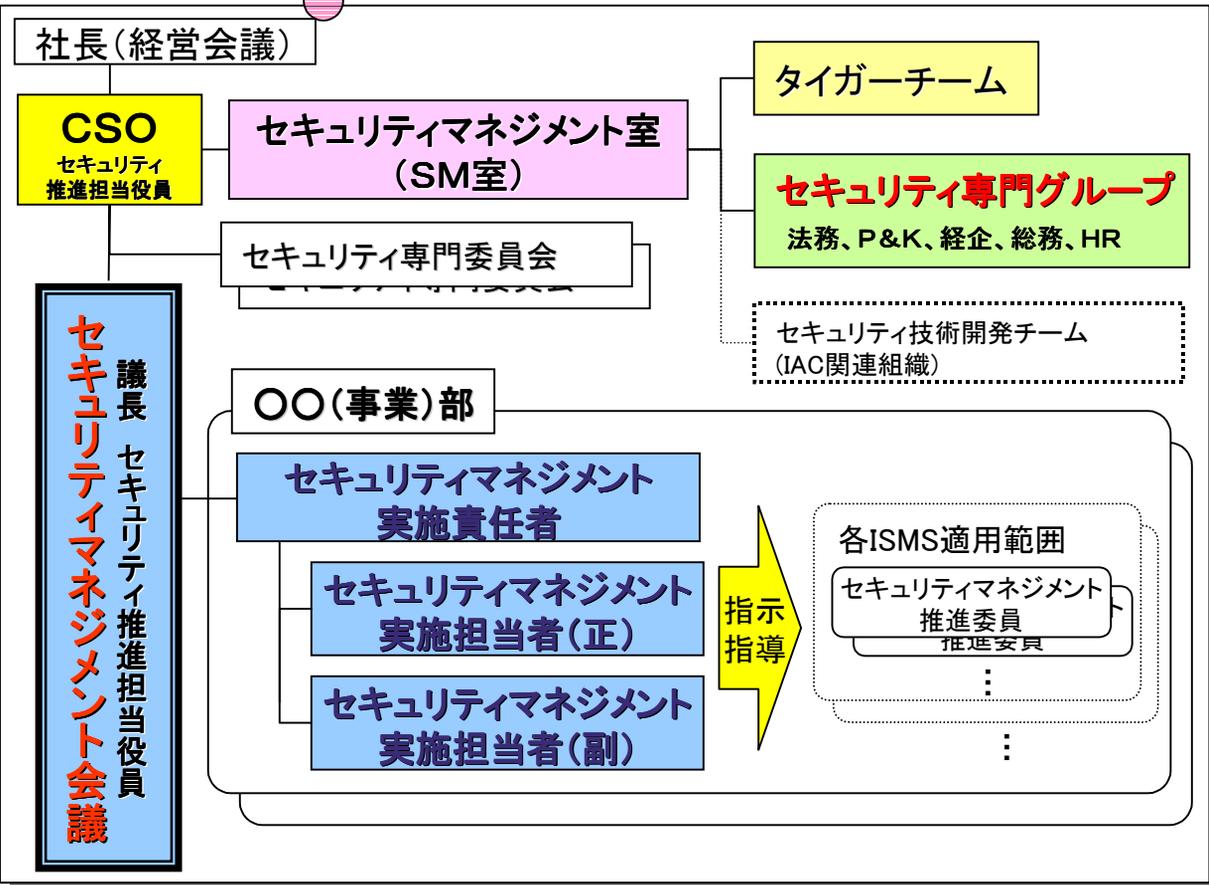


実施プログラム

- ① CSO/SM室の役割定義および全社セキュリティ体制の設計
 - ② 全社セキュリティ宣言書、ポリシー等の策定
 - ③ セキュリティマネジメント実施担当者等へのセキュリティマネジメント専門知識の集中教育
 - ④ セキュリティ対策実施状況に関する現状の把握 (ISO17799の要求事項と現状とのギャップ分析)
 - ⑤ セキュリティインシデント対応情報共有環境の整備
- セキュリティに関する社内関連部門と連携して推進する分野

2. NTTコミュニケーションズの情報セキュリティマネジメント推進体制

CSO/SM室のミッションコンセプト
 CSO (Chief Security Officer)とSM室 (Security Management Office)の最大のミッションはCSO、SM室を
 いらなくすることである。
 すなわち、全組織、全員が自らセキュリティマネジメントを
 実施できるような状態にすることである。



ミッションをポリシーに記載して責任体制を明確化

CSO
 セキュリティレベルの向上に対して責任を持ち、セキュリティマネジメントの定着に向けての指揮を担う。また、セキュリティの全社の有事において対応体制の整備に対する指揮を取ることで対応現場を補完する責任を担う。

SM室
 SM室はCSOを補佐し、セキュリティレベルの向上、セキュリティマネジメントの定着のための方針、施策、管理策を開発、展開、その順守状況を監査する役割を担う。

セキュリティマネジメント会議
 CSOのミッションを具現化し、全社、各組織に展開する上での施策決定機関としての役割を担う。

セキュリティマネジメント実施責任者
 各組織の代表者として、セキュリティマネジメント会議へ参画する。CSO/SM室と連携して自組織内のセキュリティレベルの向上、セキュリティマネジメントの定着の責任を担う。

セキュリティマネジメント実施担当者
 各組織において「セキュリティマネジメント実施責任者」を補佐し、自組織内における各種セキュリティ施策の実質的推進者としての役割を担う。

セキュリティ専門グループ
 SM室の指示に基づいて、専門性に応じたセキュリティ関連事項に対する作業の実施する役割を担う。(全社セキュリティポリシー策定等)

タイガーチーム
 セキュリティの技術的専門性を有し、脆弱性の発見とセキュリティ問題の解決に対してSM室の指示に基づき実施する役割を担う。



3. セキュリティポリシー体系について

